

英文読解、英文構成、英会話 … フレーズをつくろう

冠詞とは

著作権について

『フレーズをつくろう … 冠詞とは』

は著作権法により、保護されています。

『フレーズをつくろう … 冠詞とは』の著作権は

ahmcanada.com … 作成者『しこう』にあります。

ファイルの一部、またはすべてを複製、流用、

および転載、転売することを禁じます。

はじめに

はじめまして、

このたびはレポート

『フレーズをつくろう ... 冠詞とは』

をダウンロードして頂きありがとうございます。

このレポートでは

日本語で育った日本人が

英語を用いるとき、解っていながらよく忘れる

英語の

『冠詞について』

理解しておきたいポイントを考えてみました。

もくじ

著作権について

はじめに

冠詞とは

英語の冠詞は何のためにあるのか

冠詞 a, と an, の使い方

特定冠詞とは

冠詞 (a, an) と特定冠詞 (the) を使い分ける

冠詞が伴わない名詞

冠詞 (a, an) と特定冠詞 (the)

冠詞とは

名詞の前にそえて一種の限定を加える語。日本語にはない。

... 日本語大辞典(講談社)より ...

英語には

日本語では存在しない『冠詞』があります。

『冠詞』は

『可算単数名詞』と深く結びついています。

日本語でも

『可算名詞』は『普通名詞』として存在しますが、

単数名詞と複数名詞は区別はしません。

そのため、

単数名詞に伴う『冠詞』が存在しません。

そして、

『複数名詞』が存在しません。

論理的な英語は論理的な理由で『冠詞』を用います。

英語の冠詞は何のためにあるのか

日本語にない冠詞、英語の冠詞 (a, an) は

数多い英語の名詞をどのような目的で使うか、を示すとか

他の品詞と区別するためにあります。

冠詞は枕詞 (... 著者の造語) です。

枕詞 とは

枕詞 とは

特定の語の前において組みとなり、

語順を整えたり、ある種の情緒を伝えることば

… Wikipedia より引用 …

となっています。

しこうの英語 では

枕詞 とは ... 著者の造語

名詞に伴い、その名詞について

いろいろな情報を与えてくれる品詞の総称です。

『形あるいは、範囲や区切りがある』、とか

『範囲や区切りを与えられている』という意味の品詞とします。

名詞に伴って、

一組の (基本フレーズ ... 自立語句) を構成します。

重要

しこうの英語では

冠詞は『形あるいは、範囲や区切りがある』

という意味で用いる (品詞 ... 枕詞) です。

それに加えて、(冠詞 ... a, an) には二つの意味があります。

第一に『一般の』

第二に『一個の、ひとつのユニットの』

どちらか一方が欠けると冠詞は用いません。

英語の (冠詞 ... a, an) は

対象になる名詞は

『一般の、ひとつのユニットの』モノ、コトという意味です。

日本人が用いるあやふやな『ひとつ』ではありません。

日本人の『おひとつどうぞ』は

必ずしもひとつだけではありません。

日本語の『おひとつどうぞ』は

英語では「have some」です。

ひとつだけといたければ

「have a cookie」とか「take one」です。

例

(冠詞 ... a, an) は

『一般の、ひとつの』という意味で

必ず、単数名詞に伴います。

..... (冠詞 ... a, an) + 単数名詞

一つの (a, an) モノ
... a book ... a house ... an apple

一つの (a, an) 場所
... a park ... a city

一人の (a, an) ヒト
... a sister ... an uncle

一つの (a, an) 動物、植物
... a cat ... a rose

一つの (a, an) 抽象的なモノの区切り
... an idea ... a plan

一つの (a, an) 抽象的な行事などの区切り
... a birthday ... a festival

一つの (a, an) まとまった時間の区切り
... a minute ... an hour ... a day

一つの (a, an) 定まった数
... a hundred, a thousand,

一つの (a, an) まとまった量
... a dozen, a lot,

冠詞 a, と an, の使い方

冠詞 a, と an, を使い分けるには英語を発音してみましょう。

英語は sound word です。

リズムがあります。

一塊のフレーズは息を切らずに発言しますが、

a と an では微妙な(間)の違いがあります。

そのため

リズムを崩すことば、(母音を繰り返すことば)は避けます。

例

apple を

a apple (ア アップル)と発音した場合と

an apple (アン アップル)と発音した場合の

リズムを試してみればよくわかります。

注

... hour の (h) の発音は母音 (あ) で始まります。

従って、... an hour となる。

an の (n) は無声音です。

発音しないだけでスペースをなくしたわけではありません。

特定冠詞 (the)

冠詞で混乱するのがこの特定冠詞 (the) です。

固有名詞に使ったり使わなかったり

比較や限定に使うと思えば、

人名や抽象、集合名詞に伴ったり

複数名詞や不可算名詞にまで伴うことがあります。

特定冠詞 (the) は、数には関係ありません。

特定冠詞 (the) は (品詞 ... 枕詞) です。

『範囲や区切りを与えられている』

(抽象的なモノやコトを表す名詞を含む)

特定冠詞 (the) は

『特定された状態の』という意味です。

文脈とか発言者の意図により常識、論理的に考えて

対象になる言葉が

『特定された状態の』モノやコトと判断できる場合に用います。

論理的に考えて、

『範囲や区切りを与えられている』

『特定された状態の』不可算名詞にも伴います。

数には関係ありませんが、

対象になる言葉が、可算名詞であれば、

『可算名詞です』という意味で

単数名詞と複数名詞を区別して表示します。

例

対象になる

可算名詞のモノや、コト、出来事などが他にない場合

... the book, the Sun, the festival,

... the books

... (注) 太陽はこの地球では一個しかない

対象になる集合名詞のモノや、コトが他にない場合

... the Robinsons, the people,

対象になる抽象名詞のモノや、コトが他にない場合

... the best,

冠詞 (a, an) と 特定冠詞 (the) を使い分ける

冠詞 (a, an) と特定冠詞 (the) を使い分けるのは

英語を母語とするヒトでも混乱するときがあるようです。

冠詞 (a, an) と特定冠詞 (the) の使い分けであり、

用いるか用いないか、という基本的なことではありません。

日本人が冠詞を苦手とするのは、

冠詞を無視したり、用いるか用いないか、であり

使い分け以前の問題です。

例 … 車についてのフード

特定冠詞 (the) を伴う

... the car ... 『特定された状態の』車、例の車

冠詞 (a, an) を伴う

... a car ... 『一般の、ひとつの』車というモノ

文脈や発言者の意図により、論理的に考えて

the hood of a car

... 『一般の、ひとつの』

... 車というモノ (a car) についている

... 『特定された状態の』フード (the hood) ... とか

the hood of the car

... 『特定された状態の』車 (the car) についている

... 『特定された状態の』フード (the hood)

... というふうに用いますが、

a hood of the car にはできません。

...『特定された状態の』車と宣言した場合には、

... その車だけの

...『特定された状態の』フードがついているはずです。

a hood ... は

...『一般の、ひとつの』hood です。

the hood ... は

...『特定された状態の』hood です。

『一般の、ひとつの』車 (a car) であったとしても、

あるいは

『特定された状態の』車 (the car) であったとしても、

その車には、

その車だけの

『特定された状態の』フード (the hood) が

付いているはずです。

従って、

the hood of a car とか

the hood of the car というように用いる。

動作や行為を表すことばに冠詞 (a, an) が伴うと、

一区切りの一連の動作を表します。

複数形は存在しません。

例えば

... for a walk ひと歩き

... take a look ... ちょっと見ろ

冠詞を用いることとを習慣にするには

日本人が苦手な冠詞を習慣的に用いるようにするには
どの名詞にでも一応 (a) を用いてフレーズを作ります。

その作ったフレーズの

(a) を文脈や意図、英語のルールと Agreement に従って

(a) をそのままにしておく。

(an) に置き換える ...

(one) に置き換える ...

(a) を取り除く ...

(two 以上の数値) に置き換える

(my, your, our, など) に置き換える ...

(the) に置き換える ...

(this, that など) に置き換える ... 省略

その他 ... 省略

例

『一般の、単数の』(a)を伴う名詞

... a cup ...

... a cup ... どのコップでもよい場合

... そのままにしておく。

『一般の、単数の』(an)を伴う名詞

... an apple ...

... an apple ... 英語は母音を続けることをきらいます。

... (a)を(an)に置き換えます。

(注) ... hour の (h) の発音は母音 (あ) で始まります。

従って、

... an hour となる。

『一般の、単数の』(one)を伴う名詞

... one cup ...

... one cup ... 一個のコップだと強調したければ、

... (a)を(one)に置き換えます。

『一般の、複数の』名詞

... cups ...

... cups ... 複数名詞 (many) は自立語です。

… 単独で用いる

… 冠詞の第一の意味『一般の』ですが

… 冠詞の第二の意味『一個の』ではありません。

… 冠詞 (a) を削除します。

『一般の、複数の』 (two 以上の数値) を伴う名詞

... three cups ...

... three cups ... 『一般の、複数の』名詞の数値を指定する

... (a) を (two 以上の数値) に置き換えます。

『所属、所有、特定、限定されている状態の』

枕詞 は

可算名詞、不可算名詞の区別なく

『形あるいは、範囲や区切りがある』、とか

『範囲や区切りを与えられている』名詞に伴います。

そのため、

可算名詞に伴う場合、

可算名詞ですという意味で

単数名詞と複数名詞を区別して表示します。

『～に所属、所有している状態の』

… (my, your, our, など) を伴う名詞

… my cup, … my cups

… 『～に所属、所有している状態の』 コップ

… (a) を 所有形容詞 (my, your, our, など) に置き換えます。

そして、

コップは可算名詞です。

『可算名詞です』という意味で、

単数名詞 (one)、複数名詞 (many) を区別して表示します。

『特定されている状態の』(the) を伴う名詞

... the cup, the cups ... 『特定されている状態の』

… 例のコップ … (the) に置き換えます。

(the) は『特定されている状態の』という意味です。

数には関係ありません。

コップは可算名詞です。

『可算名詞です』という意味で、

単数名詞 (one)、複数名詞 (many) を区別して表示します。

『不可算名詞』 ... water

... 水は不可算名詞です。

(a) を取り除きます。

(注) 基本フレーズでは、

冠詞は、特定冠詞、所有、限定形容詞など、と併用しない。

たいていの場合以上のルールで通用します。

冠詞が伴わない名詞

複数名詞

固有名詞

代名詞

所有、限定形容詞が伴う名詞

数を表すことばが伴う名詞

ユニットとして数えられない名詞 ... 不可算名詞 など
その他 ... 省略

複数名詞

... 複数名詞は自立語です。

固有名詞

... 固有名詞は自立語です。

... 固有名詞 に伴う **The** は
『特定されている状態の』という意味です。

代名詞

... 代名詞は自立語です。

所有、限定形容詞が伴う名詞

... 冠詞が持つ第一の意味『一般の』ではありません。

数を表すことばが伴う名詞

... 冠詞は **one** という意味です。

従って、

単数詞 (**one**) が伴う名詞には冠詞は必要ありません。

... 重複になる。

(注)

二個以上で存在する名詞 (**many**) は

二個以上で存在しますという意味で複数名詞になります。

... 冠詞が持つ第二の意味『一つの』ではありません。

『不可算名詞』

ユニットとして数えられない名詞(形が自由に変わる名詞)

一定のユニットとして存在しない(不可算名詞)は無冠詞です。

そのような名詞は

すでに何かがたくさん集まっている状態とか (sand, sugar)

形を自由に変えることができるとか (water, cloud)

とらえどころがない抽象的なことば (beauty, happy)

数えられない不可算名詞です。

注

不可算名詞でも

可算名詞のフレーズを伴って

数えられる状態にできる名詞もあります。

不可算名詞などに冠詞が伴う場合は特別な意味になります。

おわりに

最後までお読みいただきありがとうございました。

このレポートは

編集中の本

『英文読解、英文構成、英会話』から

英文読解、英文構成、英会話を

カンタンにするための下準備として

著者のメルマガ

『フレーズをつくろう ... 冠詞とは』をまとめました。

英語を母語とするヒトの説明を基にしたものですが、

著者の観点や判断も含んでいます。

当方、個人的な理由から代理登録や協賛登録はしません。

無料メルマガへの登録はあなた御自身でお願いします。

無料メルマガ『フレーズをつくろう』

このレポートがあなたの英語学習にお役に立てますように。

このレポートに関するご質問は『ej_shikou*yahoo.co.jp』

*を@に変換してお送りください。

タイトル … 『フレーズをつくろう ... 冠詞とは』

著者、発行者 …… 『しこう』

次の無料レポートは

『単数名詞であるはずの名詞になぜ冠詞が伴わないのか』を
予定しています。